

平成21年度 文部科学省科学研究費補助金(研究成果公開促進費)補助事業
**世界的な乳牛繁殖効率低下の原因と対策に関する
 国際シンポジウム**

期間：平成22年1月30日(土)～31日(日)

会場：ワールドコンベンションセンター サミット(4階・蘭玉)

～「平成21年度日本獣医師会学会年次大会(宮崎)」において開催します～

月日	No.	演 題	演者(所属)	時 間
1 月 30 日 (土)		開 会	加茂前秀夫 (日本産業動物獣医学会会長)	9:00～9:10
		セッションⅠ 「繁殖効率低下の現状とその原因」		
	1	高泌乳と繁殖成績	S. J. LeBlanc (ゲルフ大, カナダ)	9:10～12:00
	2	イスラエルにおける乳牛の繁殖に影響をおよぼす因子	N. Galon (コレート獣医科大, イスラエル)	
	3	繁殖特性の表現型進化および量的遺伝, ゲノム選抜の利用に関連した表現型タイピングの今後の発展と必要性	P. Humblot (UNCEIA, フランス)	
		・ 質疑応答		
		セッションⅡ 「繁殖効率向上戦略」		
	1	乳牛の繁殖成績向上のための戦略: 周産期における栄養管理	R. Grummer (ウイスコンシン大, 米国)	14:00～17:30
	2	乳牛の移行期における代謝状態のモニタリング	S. J. LeBlanc (ゲルフ大, カナダ)	
	3	イスラエルの乳牛における繁殖向上のための暑熱ストレス対策	N. Galon (コレート獣医科大, イスラエル)	
	・ 質疑応答			
	・ 一般発表 (3題)			
2 月 31 日 (日)		セッションⅢ 「乳牛の繁殖効率向上の実践的技術」		
	1	乳牛における発情および排卵同期化の現状	K. L. Macmillan (メルボルン大, 豪州)	9:00～10:50
	2	イスラエルの乳牛における発情発見のための歩数計の利用	N. Galon (コレート獣医科大, イスラエル)	
		・ 質疑応答		
		セッションⅣ 関連研究発表		
		・ 一般発表 (4題)		11:10～12:00
		・ 一般発表 (10題)		13:00～15:00
	セッションⅤ 「アジアにおける牛繁殖障害の現状と課題」			
1	牛繁殖障害の感染性要因	H. Yoo (ソウル大, 韓国)	15:15～16:45	
2	高泌乳牛の繁殖成績に与える要因	堂地 修 (酪農大)		
	・ 質疑応答			
	閉 会	中尾 敏彦 (日本産業動物獣医学会副会長)	16:45～17:00	

【開催要項(案内)】

- 参加方法：本シンポジウムに参加するためには、学会年次大会への参加登録が必要です。
学会年次大会参加登録料の郵便振替用紙の通信欄に、「国際シンポジウム参加」とご記入ください。
- 参加手続き：本シンポジウムに参加される方は、開催当日、シンポジウム専用受付(学会年次大会総合受付に設置予定)において参加手続きを行ってください。Proceedingsを配布します。
- 公用語：講演は英語(同時通訳付)ですが、質疑応答および一般発表講演は英語あるいは日本語です。
なお、発表スライドは全て英語です。
- 本シンポジウムの詳細は、専用ホームページ (<http://jsfavm.umin.jp/>) をご覧下さい。

《本シンポジウムについてのお問い合わせ先》

北原 豪 (宮崎大学) (国際シンポジウム組織委員会 総務担当)

E-mail: gkitahara@cc.miyazaki-u.ac.jp TEL&FAX: 0985-58-7655